



# 九条の樹

117号  
2026年5月発行



発行：東久留米「九条の会」 連絡先：Tel 042-473-9489（鈴木）  
<http://higashikurume-9.net/> メール：higashikurume9j@gmail.com

## 憲法九条が

## イラン紛争でも

## 私たちを守った

高市首相がトランプ大統領と会談した時、アメリカ側からホルムズ海峡の機雷掃海に日本の自衛隊艦船派遣を求められました。その時日本側は「法律上できることと、できないことがある」と言っており、この要請を断つたと報じられています。

高市首相として、イラク戦争のときは派兵しませんでした。戦闘はできないと、非戦闘地域で道路整備などを行っていました。

高市首相として、イラク戦争のときは派兵しませんでした。戦闘はできないと、非戦闘地域で道路整備などを行っていました。

でも、これによって自衛隊員がホルムズ海峡で、死の危険に合わずに済んだのです。なにより日本がイランとの戦争に巻き込まれずに済んだのです。

憲法は主権者国民が政府に対し「これはやってはいけない」と政府の行動を縛るものです。今回も九条は国民の生命を守る大きな力を持っていることを示しました。

と報じられています。

### ベトナム戦争のときも

これは初めてではありません。ベトナム戦争のときアメリカはアジアの各国に戦争協力、参加を求めました。日本は今回と同じように憲法九条により「参加できない」としましたが、韓国やフィリピンなど、多くの国の若者が派兵され死傷しまし

近年のウクライナ、ガザ、イランでの戦争の報道に触れ、戦争が身近なものと感じる若者が増えています。また高市政権の姿勢も「危ない」と、「平和」「九条守ろう」と国会前に数万人集まっています。ペンライトや手作りプラカード、旗をもって。4月の東久留米市民パレードにもネットのデモカレンダーを見て参加した人もありました。

# 4・18市民集会・ ピースパレードに 150名



戦争はイヤ! 声をあげよう実行委員会主催の市民集会に150名、パレードには105名が参加。4名の市民スピーチで、東久留米「九条の会」からは鈴木事務局長が、東久留米でも非戦の誓いを目に見える形「憲法

九条の碑」として建てようと呼びかけました。

集会後、富士見通りを西口中央公園まで「戦争反対」「憲法守れ」「憲法九条は日本の宝」「子供の未来を守ろう」と訴えました。デモカレンダーを見て参加した、ボードを持った二人の子どもを連れた母親やTシャツや短パンの青年たちも加わって楽しくパレードしました。

## 市民スピーチ

佐藤真理さん

中央町に住んでいます、全レク一座の佐藤真理です。

4年前に亡くなった私の母、この場にもお世話になった方がたくさんいらっしやると思いません。母は幼いころに戦争を体験



しました。

当時母が住んでいた現在の練馬区の上空をB29が飛んできたこと、秋田に疎開し、両親を早くに亡くし、兄弟ばらばらに親戚の家に預けられて育ったこと。そんなつらい話を、私は聞いて

きました。母にとって戦争は、悲しみと苦しみの記憶だったと思います。

戦争がなければ、まったく違う人生があったのではないかしらう感じています。

そのような体験をしてきた母は、平和の大切さを胸に、仲間の皆さんと活動してきました。そして、私も2人の息子の母親になり、保育士として働いています。自分の子どもも、関わるすべての子どもたちも、絶対に戦場に送りたくない。そう強く思っています。

では、自分に何ができるのか。私には歌があります。歌で、平和や命の大切さを伝えていきたい。そう思い、二本松さんや宮島さんたちが作ってこられた全レク一座で、一緒に歌い始めました。

子どもたちの未来が平和であるようにと願い、「希望をのせて」を作り、歌わせていただいています。

今、世界では、ウクライナやイランなどで戦争が起き、多くの子どもの命が奪われています。日本でも、自衛隊員の不

足背景に、公務員が有事や災害時に予備自衛官として活動する特例の法案が閣議決定されるなど、不安を感じる動きがあります。

また、憲法改正に意欲を燃やしている高市首相―将来、徴兵制につながるのではないかと、私は強い危機感を持っています。

戦争によって、夢や希望を奪われた若者や子どもたちがたくさんいたことを、私たちは決して忘れてはいけません。同じ過ちを、繰り返してはいけませんのです。今の日本の平和は、憲法九条によって守られています。世界に誇れる平和憲法です。そして、平和でなければ、歌うことさえできなくなってしまう。

今、全国各地で憲法を守ろうという集会が開かれています。私も国会前や池袋の集会に参加してきました。若い人たちも、ペンライトやプラカードを手に、多く参加しています。戦争ができる国にしないために。

戦争はだめ。憲法改悪絶対反対。九条を守ろう。この東久留米からも声を上げ、平和の願いを広げていきましょう。

## 憲法大集会に5万人

「つながろう・憲法いかして平和な世界を！」2026憲法大集会は、5月3日有明防災公園で開催。今年の参加者は5万人、大勢の若い人たちが目立ちました。東久留米からも50名以上が参加しました。



### こんなサイトが欲しかった

◆実施予定がわかる「デモカレンダー」公開  
福岡県の女性が1人で作ったデモ紹介サイト。開催日時、場所を一目にし、こだわりで「行きます！」ボタンを付け、参加希望者の数を可視化できる機能です。

<https://democalendar.jp>



デモカレンダー

## ■お知らせ

○「九条の碑を東久留米に」発足のつどい  
6月14日(日)

東久留米市民プラザホール

午前10時〜12時(開場9:30)

非戦の誓いを目に見える形「憲法9条の碑」として建立しましょう。たくさんの方々のご協力をお願いします。

## ○田中熙巳講演会

「核兵器も戦争もない世界を」  
6月27日(土)

まろにえホール

(東久留米市生涯学習センター)

午後2時〜4時(開場13:30)  
参加費・500円(大学生以下)

障がい者無料)

ノルウェー・オスロで行われた日本被団協のノーベル平和賞受賞式で、代表委員として世界に向けて核兵器の廃絶などを訴えるスピーチを行った田中熙巳さん、この度東久留米で「核兵器も戦争もない世界を」と題して講演を行います。貴重なお話を、ぜひお聞きください。

# 戦争体験記

## 中国で敗戦をむかえて

手崎 久実子

金沢で生まれたが、小学校一年から女学校卒業するまで、父母兄弟そろって暮らした旧満州（中国東北部、日本の植民地だった）鞍山（あんざん）市の日々が思い出される。

緑など一つもない荒涼の大地、街を囲む山並みは草木も生えぬ青一色の鉄山である。昭和製鋼所の9基の巨大な溶鉱炉がそびえる威容と空のみである。母は無機質な風景を嫌い内地に帰りたいと嘆いていたが、私は雄大なコンビナート風景にロマンさを感じていた。

鞍山は大正7年に満鉄が原野に製鋼所を作り6億トンの鉄資源を得、日本から7万人を呼びよせ、私の家族はその

社宅で豊かに暮らせた。しかしその幸せは一瞬にして消えた。

終戦の放送は女学校で聞いた。校長から「連合軍に無条件降伏した」と告げられた。

鞍山高等女学校4年生だった。「最後まで戦い抜く。神の国は必ず勝つ」と教えられ信じていたので納得しかなかった。

しかし早帰りを命じられて校門を出たとたん「日本鬼子（リベンクイズ）」と子どもまでが叫んで野菜くずなどを投げつけてくる。ひたすら下を向いて家に駆けこんだ。怖ろしかった。私はやっと日本が負けたことを悟ったのである。

それからの毎日は恐ろしい事が続いた。級友が帰宅しない父親を捜し製鋼所に行くこと、死体となって溝の中に捨てられていた。中国人労働者に暴力をふるい、酷使したためという。別の級友の父親はホテ

ルを建てるために中国人の家を壊し、追い払ったという罪で街の空き地で銃殺刑に。毎日誰かが拉致され、お金で交換されたとか、行方不明だとか聞かされた。

町はずれの社宅街は略奪され壁板、床板、窓枠、畳家具など燃料になるものはすべて持ち去られ住めるものではなかった。略奪は終わることがなく、遠くで襲来を遂げてたくドラム缶の音が伝わりと家族はひと固まりになって震えながら祈るのみだった。

（つづく）  
（年金者組合記念誌より要約しています）



## 《平和を考える本》

### 『対決』

（月村了衛・作 光文社文庫）



（860円＋税）

贈賄容疑と政治家の息子の裏口入学の疑いで、有名私立医大に東京地検特捜部の強制捜査が入った。日邦新聞社会部の檜葉菊乃はすぐに取材に飛んだが、なんと、その裏にはもっと大きな秘密が隠されていた。

女子の入学を制限するために、入試で女子の点数を一律減点していたのだった。不正、差別問題を追及する檜葉が、取材のターゲットに選んだのは医大でたった一人の女性理事。情報が公に出ないように防衛に回る彼女との対決は？ 正義とは？

2018年に複数の大学医学部で明るみに出た不祥事をモチーフに、書き下ろした社会派エンタメ作品。（高田桂子）